

辺野古土砂北九州

発行…2024年11月号・No.56



10月26日13時15分頃、日米共同の軍事訓練「キーン・ソード25」で、北九州空港に飛来した「P3C オライオン」です。駐機場に入って、機体の下回りなどをチェックした後、燃料車が来て給油。また、幾人かの自衛隊員が、機体をプッシュバックする車の「棒」のようなもののチェックをしていました。垂直尾翼の機体番号を調べると岩国基地所属のものようです。

《目次》

- 【小倉駐屯地】市民の「まつり」が自衛官勧誘の場に(高瀬菜穂子)…………… 2 ページ
【北九州市の「キーン・ソード 25」】中止求める市への要請行動→中止求める九州防衛局への要請行動→7 団体が小倉駅前街頭宣伝→北九州空港での監視行動→フェリーターミナルから帰路に就く軍事車両(藤堂均・宗吉信・大野保徳・竹内俊一・八記久美子)…………… 5 ページ
【三上監督映画】「戦雲」上映会に参加して(大野保徳)…………… 13 ページ
【連続エッセイ】ゲート前で「カジマヤー祝い」(浦島悦子)…………… 14 ページ

写真…小倉タイムス・高瀬菜穂子・竹内俊一・藤堂均・宗吉信・八記久美子



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

市民の「まつい」が自衛官勧誘の場に 自衛隊小倉駐屯地での開催に反対し 「まつりみなみ in 小倉駐屯地を考える会」が発足

「まつりみなみ in 小倉駐屯地を考える会」呼びかけ人 高瀬菜穂子

■区最大のイベントが自衛隊駐屯地で開催に

毎年夏に北九州市小倉南区で行われる「まつりみなみ」は、数万の市民がつどい、総踊りや花火を楽しむ区最大のイベントです。長年、モノレールの終点「企救丘駅」近くの「志井公園」で開かれてきました。ところが、今年、突然、「自衛隊小倉駐屯地」での開催になったことから、市民に不安が広がり、抗議の声が上がりました。

■全く説得力のない変更理由

まつりみなみ実行委員会が場所の変更を決定したのは今年2月で、市民への公式発表は5月です。6月11日、新日本婦人の会(略称:新婦人)小倉南支部が呼びかけ、平和委員会、人権連などの団体も加わり、区役所まつりみなみ事務局のコミュニティ支援課に場所変更の経緯、理由をただすとともに、小倉駐屯地での開催を中止するよう求めました。

コミュニティ支援課は、志井公園での開催は、①まつり終了後、企救丘駅に人が集中するため危険である、②打ち上げ花火の火の粉が周辺の木に燃え移る危険が指摘されている、という理由から場所の変更を決め、いくつかの場所をあたった結果、自衛隊小倉駐屯地の使用が可能となったと説明。自衛隊での開催の場合、テント設営や警備等を自衛隊員が行うため経費節減になることが③番目の理由でした。



区役所まつりみなみ事務局のコミュニティ支援課に、場所変更の経緯や理由をただし、小倉駐屯地での開催を中止するよう求める、各団体のみなさん

しかし、まつり終了後の混雑は、入口の狭い小倉駐屯地の方が深刻になることは容易に予想できます。また、住宅地の真ん中で、しかも、弾薬庫もある駐屯地敷地内での花火打ち上げはどう考えてもいっそう危険です。

■まつりチラシで自衛官勧誘、駐屯地と「共催」が明らかに

7月、小倉タイムスが「まつりは戦場の入り口だった」と大見出しをつけた事態が起きました。「まつりみなみ」と「自衛官就職説明会」の案内が一緒に書かれたチラシが、小倉北区のマンションにまかれたのです。新婦人小倉南支部では、すぐにコミュニティ支

援課に報告し、7月12日、他団体とともに抗議しました。コミュニティ支援課は、報告されるまでこの事実を知らず、「まつりを自衛官勧誘に使うことはしないようにという約束があった」と明かし、この件については自衛隊に抗議し、どの程度配布されたのか調査すると回答しました(チラシは、小倉北区、南区に数千枚の配布でした)。

ところが一方で、「まつりみなみ」が自衛隊と「共催」であることが、この日、明らかとなり、参加者から驚きと怒りの声が上がりました。場所を借りただけではないことから、「まつり」に自衛隊としてどのような関与をするのか、大変危惧されることとなりました。戦車や戦闘機などの兵器は見えないようにシートでかぶせるなど、子どもたちの目に触れないようにしてほしいと要望しました。

小倉北区・小倉南区で数千枚配られた「まつりみなみ」と「自衛隊就職説明会」を合わせたチラシ(紙面の点線部分)



■まつりが自衛官勧誘の場に

8月31日開催予定だった「まつりみなみ」は、台風のため順延で、9月1日開催となりました。主催者発表で3万人の参加。バスやモノレールで多くの人が自衛隊小倉駐屯地に押し寄せました。

入口テントでは、迷彩服の自衛隊員が全ての人の荷物をチェックします。その異様なこと！中に入ると、やはり迷彩服の自衛隊員が会場のあちこちに立って、案内をしたり、市民と写真を撮ったり。自衛隊のブースもテント3張り分ぐらいあり、自衛官勧誘のパンフレット(「誰かを助けられる人になりたい」)などを配りながら、若い人をテントの中に誘っています。自衛隊バッジ付かき氷300円、自衛隊ガチャポン、自衛隊リュックサック5000円を半額になど、子どもたちの興味を引きそうな店がズラリと並び、「まつり」はさしずめ「自衛官勧誘の場」になっていました。むき出しの戦車の前で記念撮影している家族の姿もありました。

帰りの混雑は予想された通りで、よくぞ事故がなかったといえるものだったということです。韓国ソウルの梨泰院(イテウォン)地区の雑踏事故を思わせたとの声もあります。花火は、近所の住民によると、爆弾が落ちたような音だったということです。



上…まつり会場の入り口で手荷物検査をする自衛隊員。
下…会場内の戦車の前で、写真を撮る家族連れ。



■「まつりみなみ in 小倉駐屯地を考える会」発足

今年のまつりみなみの実態を踏まえ、来年度以降の開催に反対し、住民自治の観点からまつりを見直そうと、10月12日、「まつりみなみ in 小倉駐屯地を考える会」が発足しました。当面、まつり実行委員会への申し入れ、校区連合会に同内容を送付することなどが決まりました。

10月29日に、実行委員会事務局である区コミュニティ支援課に申し入れを行いました。実行委員会としての総括は現在行っているとのことでしたが、担当課長は、まつりみなみについて、①出入り口が2か所しかなかったため、まつり終了後の混雑が深刻であった、②まつり開催中に正体不明のドローンがとんできており、管理運営上問題があった、③

今回台風で順延となったが、災害対応で自衛隊が出動となる場合、開催が困難になるリスクがある、という3点の問題意識を持っており、「これをクリアするのは、相当に高いハードルだと認識している」と答えました。今後も実行委員会の動向を注視し、必要な申し入れ、懇談を行うことを確認しました。

■敵基地攻撃能力増強の中、「賭命義務」があることを隠して

自衛官の採用が2023年度で計画の51%にとどまり過去最低となる一方、退職者が6500人など、深刻な人材不足が報じられています。自治体が自衛隊に対し、18歳の青年名簿を提供することや子ども食堂での自衛隊勧誘、小中学生の体験学習のあとの自衛隊勧誘、高校文化祭へのブース出展、地域のまつりなどへの参加など、なりふり構わぬ形で勧誘を行っています。北九州市は、今年から「自衛官募集重点市町村」に指定されており、まつりみなみ「共催」もその一環ともいえるのではないのでしょうか。「生きがいのある人生」「誰かを助けられる人に」などのうたい文句の陰で、自衛官には、「賭命義務」があることは強調されません。敵基地攻撃能力拡大の中、自衛隊駐屯地で自衛官勧誘ともに行われる「まつり」に違和感を持たないとしたら、「戦争前夜」との思いを強くします。どんな状況でも、声を上げ続けることが重要だと思います。(たかせなほこ)

北九州空港で軍事訓練

日米共同の軍事訓練「キーン・ソード 25」の
中止申し入れ～訓練実施・帰路に就く車両まで

報告…藤堂均・宗吉信・大野保徳・竹内俊一・八記久美子

10月23日～11月1日まで、全国で行われた日米合同の軍事訓練「キーン・ソード 25」。「辺野古土砂ストップ北九州」が参加した、他団体との市と九州防衛局への要請行動・街頭宣伝・監視行動・帰路に就く軍事車両までを、時系列に沿って報告します。

なお、米軍の呼び名の「キーン・ソード」とは「鋭利な剣」の意味。日本での名称は「令和6年度日米共同統合演習(実働演習)」です。

10/17<<北九州市に要請行動>>

<<報告①>>世話人・藤堂均…北九州市は「我関せず」の態度

10月17日、市内の34団体とともに北九州市に対し、「キーン・ソード 25」で北九州空港が使われることについて、そうなった経緯を明らかにすること、「キーン・ソード」の対象から外すこと、特定利用空港から外すことを申し入れた。

市側は、「経緯は承知していない。国において適切な判断がされたと考えている。演習内容は、国防は国の専管事項であり市としては説明する立場にない。北九州空港を対象から外すよう申し入れることは考えていない。空港は国管理空港であるため活用は国が責任を持って判断するものと認識している」と回答。民生用施設で軍事演習が行われるというのに市当局は立ち会うことすらしないという。短くまとめると「国有の空港を国がどうしようと思ったこっちゃありません」ということである。市当局者は「国において適切な判断がなされた」と言うが、南西諸島が戦場になることも辞さないばかりに基地が増設されている。それに加えて民生用の空港・港湾を「特定利用空港・港湾」と指定し、軍事利用するというのである。国の判断が憲法の平和主義を踏みにじる、不適切にも程がある状況だから、市に対して傍観しないよう申し入れているのである。



北九州市内での「キーン・ソード 25」の訓練の中止を要請する一コマ。この中で市の職員は5名。あとは中止を求める各団体のメンバーと市議員のみなさん。ちなみに、北九州では、北九州空港と小倉駐屯地が対象施設に。

北九州エアターミナルの社長は代々北九州市の局長クラスの天下りである。市の局長のみなさん！このままでは、あなたの将来の職場が「敵国」の攻撃的になりますよ。特定利用空港指定を外すよう本気でガンバってみませんか？

10/21 ≪九州防衛局に要請行動≫

≪報告②≫世話人・宗吉信…ロビーで対応、回答文書くれない防衛局

10月21日、九州防衛局に対し、「平和をあきらめない北九州ネット」や福岡市の「辺野古アクション」、その他の団体と共に、日米共同統合演習「キーン・ソード25」での北九州空港、福岡空港の使用中止の申し入れをした。

申し入れ書は事前に送付して、訪問の日時を伝えていたのに、福岡合同庁舎入口のロビー隅での、互いに立ったままでのやり取りという防衛局側の対応。しかも、報道官1名のみが相手。国民の請願を全く軽視している。

こちらの申し入れに対し、相手は事前に用意していた長文の回答を読み上げる。しかし立ったままではメモも取れず、内容は全く伝わって来ない。回答の文書があるのだからそれをコピーして渡してほしいと要求したが、それはできないと言う。押し問答の結果、報道官は上司との相談に戻ったが、「他の個人や団体にも口頭でしか回答していないので、文書は出せない」とのこと。

主権者である国民の声を、ちゃんとした場を設定してしっかり聴こうという姿勢も、説明責任を果たそうという姿勢も全くない。「防衛局というのは何様か！いつから自衛隊はそんなにエラくなったのか！」と思った申し入れの場だった。



横…申し入れ書を手渡す「平和ネット」の池上遊事務局長

下…申し入れの様子。報道官(中央)は、ファイルで隠すようにして用意した文書を読み上げていた



10/22 ≪小倉駅前街頭宣伝≫

≪報告③≫ 世話人・大野保徳…7 団体 13 名で宣伝、取材も 2 社。

北九州空港特定利用指定のことで西日本で進む軍事拡大の状況を市民に知らせたいと思案中のところに、10月23日からの「キーン・ソード 25」で、北九州空港に自衛隊機が飛来するとの情報が入り、急遽、10月22日（火）16時30分から、小倉駅前街頭宣伝を行いました。「平和をあきらめない北九州ネット」の呼びかけで北九州市と九州防衛局に連名で申し入れを行った34団体に、当会の名前で参加を呼びかけました。7団体13名の参加者があり、大きな横断幕を掲げ、各団体からのスピーチを行って、通行人に訴えることができました。用意したチラシ120枚もすべて無くなりました。

「キーン・ソード 25」が始まる前日だったためか、TV放送局2社の取材でカメラを向けられる街頭宣伝となり、通行人からのプラカードへの注目度も高かったと思います。

台湾有事を想定した実践訓練「キーン・ソード 25」は日本列島の様々な場所で実施され、市民を不安に駆りたてました。先日、NHK ニュースで、沖縄県的那覇空港から、戦闘で負傷した兵士を乗せた輸送機が福岡空港に到着する訓練の様子を放映していました。沖縄が戦場になることが想定されています。とんでもないことです。そんなことが許されていいはずがありません。



交代でマイクを握り、「キーン・ソード」の訓練の中止や「北九州空港の特定利用空港指定の撤回」を訴えました。嬉しいことに、テレビ局の取材もありました。

10/28 ≪北九州空港で監視行動≫

≪報告④≫世話人・八記久美子…ヘリコプターが「タッチ&ゴー」

私が北九州空港の展望台にいたのは、10時～11時過ぎまでです。現地にはやはり行ってみるものです。私は初めてヘリコプターの「タッチ&ゴー」を見ました。私がいる間5回くらい繰り返したでしょうか。いつも小倉北区の我が家の上空を飛んでいる、耳に



鳥かごの中にあるような気分になる、北九州空港の展望デッキ

なじんだバリバリという音を立てながら飛んできたヘリコプターが急に静かになり、滑走路に降りるか下りないかという状態、もしくは着陸してから、またバリバリ音を立てて飛び立ちます。また、自衛隊機かどうかわかりませんが、小型の飛行機も飛んできました。デッキから見る限り誰も降りてこず、しばらくして飛びだって行きました。

私がいる時間は、本命の訓練機は来ませんでしたが、なんか、民間機の離発着の合間を縫って、まるで「自然の流れ」に沿って、無駄なく訓練が行われている感じでした。

空港には、飛行機を利用する人たちがたくさんいましたが、自分のいる場所で戦争の訓練が行われているなんて、みんな知らなかったと思います。戦争は音もなく近づいてくることを実感しました。

≪報告⑤≫世話人・大野保徳…点検や給油、目の前で

11時30分、普段は見かけないヘリコプターが音もなく滑走路に降りてきた。

機体横後方に小さく日の丸が確認でき、自衛隊機だ！ スマホで検索すると、UH-60Jかなと思った。6～7人の隊員が機体の上や周りの点検を始め、11時45分にはタンクローリーがやって来て給油を開始。12時、タンクローリーは去り、隊員達の姿も見えなくなった。

途中のコンビニで買ったおにぎりでランチ。隊員たちはどこでランチしているのだろう。

まさか、どこかで歓迎パーティー…？などと思いながらうつらうつらしながら監視しているところへ「平和をあきらめない北九州ネット」の竹内さん登場。今日飛来すると言われていた対潜哨戒機 P3C は、26日13時過ぎにやって来て15時頃に飛び去ったと教えて下さった。その上、スマホのLINEを繋いでP3Cの写真を下さった。その写真を観てスマホで撮る気が萎えた。それもそのはず一眼レフデジカメの望遠をお持ちだった。

14時、隊員たちが姿を現したかと思うと動き始め、滑走路へ移動し、一旦、ふわっと浮き上がり、北へ上昇して左に旋回し、西へと飛び去った。

長い日時を経て完成され、今では年間1,175,000人もの旅客が利用し、様々な人々が働き、近くに養殖牡蠣の筏が浮かぶ北九州空港。貨物航空機も1日に10数便離発着している。発展を続けるこの北九州空港が、今回の「キーン・ソード25」で自衛隊機に利用される第一歩となった。いずれ米軍機もやって来ることだろう。いかなる理由があろうとも、この空港が他国から攻撃を受けるようなことがあってはならない。この空港から飛び立った軍用機による他国への攻撃があってはならない。



北九州着陸後の救難ヘリ UH-60J。場所はいちばん南側(苅田側)の駐機場。後ろに滑走路延長工事の様子が映っている。



UH-60J の機体前方部。突き出た棒状のものは空中給油の受油装置。機体側面上部のタンク状のものは予備燃料タンク。

《報告⑥》平和をあきらめない北九州ネット・竹内俊一…

日本の役割に感じる不気味さ

北九州市に対する「キーン・ソード25」についての申し入れをしたこともあって、10月23日に築城、26日と28日に北九州空港に行きました。さすがに築城は多くの米軍機(F16)が集結していて、私が現地に行った時は自衛隊のF2などが次々と発進していました。

26日の北九州空港は、北九州市当局から救難ヘリの訓練と聞いていましたが、13時10分頃飛来してきたのはP3Cという哨戒機でした。次の訓練日である28日はUH-60Jという救難ヘリが飛来し、給油等をしたのち、14時過ぎに飛び立ちました。北九州空港は元々のんびりした空港であるし、簡単な機体チェックと給油程度では特に緊迫感はありません。しかし、今回の日米統合演習の背景にある、米中対立と、その米国の対中戦略に組み込まれた日本の位置付けや役割を考えると、やはり不気味さを感じざるを得ません。

2023年だったと記憶しますが、米軍高官が「私の直感だが25年頃に米中が戦うことになるのではないか」とか、CIA長官が「習近平が2027年までに台湾侵攻を成功させ

るための準備をしている」など、いわゆる台湾有事における米中の戦争を想定する発言が相次ぎました。日本の軍拡はその時期に照準を当てて急速に進められていると感じます。先般、小倉北区で講演された渡辺治(一橋大学名誉教授)先生は「経済的に密接だからといって戦争が起きないわけではない」「どちらかが優位に立とうとするとき戦端が開かれる。第一次世界大戦前のイギリスとドイツがそうだった」と語っていました。下手をすれば、そういう恐ろしい事態が待ち受けていることを絶えず意識して、戦争反対の声をあげたいと思っています。



離陸前に、機体まわりをチェックする乗組員



離陸の際、滑走路でしばらくホバリング。機体番号 384614 と書かれていた。

《報告⑦》世話人・藤堂均…空港局の消防車も待機

「キーン・ソード 25」の演習が行われるという 10 月 28 日、私は午後から北九州空港に行った。自衛隊ヘリのすぐ側には航空局の消防車が 1 台、万一に備えて待機していた。北九州市当局は「事故等発生した場合、影響に応じて市として対応を検討」というが、民生用空港を使う軍事演習に立ち会うこともせず、「万一」に適切な対応ができるはずもない。「国の専管事項」だからと主体的な意思表示も行動もなく、なすがままにさせていれば、いずれ市当局は国の軍事体制の使い走りとして使われるようになるだろう。



自衛隊機が駐機していた写真には写っていないそばに、航空局の消防車が待機していたようだ。

11 月初旬 ≪ 帰路に就く軍事車両 ≫

≪ 報告⑧ ≫ 世話人・藤堂均…新門司港が軍事車両の九州への出入り口

特定利用空港の問題だけではない。北九州市は交通の要衝で、港湾都市でもある。今回の「キーン・ソード」でも全国から自衛隊の隊員・車両が九州に集結した。新門司のフェリーターミナルはその出入り口であった。新門司には阪九フェリー・名門大洋フェリー・オーシャン東九フェリー・東京九州フェリーの4社が発着する。「キーン・ソード」終了後の11月初旬。自衛隊の車両が連日フェリーターミナルに集結した。どの社のフェリーを利用したのかはわからないが、大量の軍用車両を輸送することで民間の物資輸送に支障はなかったのだろうか。今後はフェリーにも注目していきたい。



上下とも、乗船を待つ自衛隊の車両



北九州空港の滑走路の延長工事の様子。2500mを3000mに延ばす工事は、昨年12月2日着工。供用開始は2027年8月31日の予定

表紙でも紹介した、対潜哨戒機の「P-3Cオライオン」。敵の潜水艦から洋上の船団を護衛し、航路を確保するのが仕事。

救難ヘリUH-60Jの機体の写真を撮る隊員たち。写真を拡大するとスマホを構えているのが確認できる。



右…与那国島で陸自のオスプレイが事故を起こした翌日の10月28日、岩国を発って沖縄に向かう米海軍のオスプレイ。同型機が事故をおこしてもお構いなしの我が物顔で九州を縦断している。(航空機の現在位置を表示するウェブサイト、フライトレーダー24で捕捉した航跡。)

最後に…「辺野古土砂ストップ北九州」では、10月中旬から11月初旬にかけて、「キーン・ソード25」に対する、様々な取り組みを行ってきました。いま日本中で戦争の準備が恐ろしい勢いで進んでいます。しかし、平和が軍事力で守れるはずがないことは、歴史が示しています。戦争の準備ではなく、平和の準備を…。機会があれば、世界の平和のための取り組みや、誰が戦争を望んでいるのかを、会報で紹介できたらいいなあと思っています。

ゲート前で「カジマヤー祝い」

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



11月7日(木)、辺野古ゲート前テントは、カジマヤー祝い(数え97歳のお祝い)で華やいだ(手作りの飾りつけも)。

月曜から金曜まで、新基地建設のための作業車両搬入に抗議するゲート座り込みは、曜日ごとに責任団体と各市町村島ぐるみ会議が分担しており、木曜日は私たちヘリ基地反対協が責任団体、沖縄市・うるま市ほか沖縄島中部地域の島ぐるみ会議が参加している。

そのうち沖縄市民会議の一員として毎週参加されている大先輩・仲井間小夜子さんが今年めでたくカジマヤーを迎えたので、木曜シンカ(仲間)みんなでお祝いしようということになったのだ。

カジマヤーの由来には諸説あるが、97歳になれば童心に帰るという意味でカジマヤー(風車)を持ってお祝いする、というのが一般的な解釈だ。

仲井間小夜子さんは1928年生まれ。10歳の時に父の呼び寄せでサイパンへ渡り、その後、父の仕事の関係で移ったロタ島で戦争に巻き込まれた(当時16歳)。沖縄戦の前哨戦と言われた「南洋諸島」での過酷な戦争を生き延びて帰国。戦後は養護学校教師として36年間勤務。退職後は、自身の戦争体験を自作の紙芝居にして県内小中学校で上演し、戦争の恐ろしさ・無

意味さ、平和の尊さを伝え続けてきた(沖縄市平和ガイドネットワークにも所属)。また、沖縄市内の介護施設で、93歳まで現役看護師として働いた。

ゲート前でも、戦争体験の紙芝居を披露し、ウニムーチャー(鬼餅)など沖縄の伝統行事の由来を語り伝えたり、いつも私たちに勇気と元気を下さっている。そんな仲井間さんに、みんなの感謝の気持ち、今後ますますのご活躍と長寿の願いを伝えようと、ヘリ基地反対協と沖縄市民会議の主催で企画した。

カジマヤー祝いの日は本来、旧暦9月7日だが、ちょうど総選挙の時期に重なったため1か月延ばした。

当日、沖縄のお祝いになくはない「かぎやで風」の三線演奏と踊りで幕開け。デニー知事の祝辞、各島ぐるみ会議代表や参加者からのお祝いの言葉、花束、プレゼントが贈られ、仲井間さんは感激ひとしお。「命の限り頑張りたい」とお礼の言葉を語った(私は司会を務めた)。

準備した50組の紅白饅頭と風車は全然足りず、参加者は80人を超えた。搬入と搬入の間の、ほんの1時間だったが、みんなの思いの溢れた、手作りの心温まる集いに心から感謝したい。

(うらしまえつこ)

北方シネマで三上監督の「戦雲」上映

いくさぶむ

これまでの予告編をもとに監督の講演も

世話人 大野保徳

当会は、昨年、三上智恵監督のスピノフ DVD「沖縄、再び戦場へ」(仮) の上映と監督の講演会を開催しました。今春、映画「戦雲(いくさぶむ)」が完成し、3月から各地の映画館での公開が始まりました。当会による自主上映は、財政的に無理だろうとの判断で、市内の映画館に上映をお願いしましたが、叶いませんでした。しかし、その後北方シネマで上映会が開催されました。

✻

残念なことに、山里節子さんは体調が悪くて石垣島から来られませんでした。

三上智恵監督の講演は、前作4本の予告編を上映しながら、沖縄、南西諸島の軍事化だけでなく、日本全国が危機的状況になっているという話でした。予告編では、住民達の必死の闘いと熱気が伝わり、こういう映像は繰り返し見る必要があると感じました。

映画「戦雲」は、与那国島、石垣島、宮古島の間で舞台が行き来する映画でした。

与那国島では馬、牛、かじきマグロと共にある生活の中で、署名活動が妨害され、戦闘車が来島する状況にまでなった、住民の苦悩と自衛隊員との交流が描かれます。

石垣島では、若者たちが中心になって成し遂げた住民投票条例を、議会が否決してしまいます。米軍の接収で土地を奪われた沖縄本島の農民が、於茂登岳の麓の荒れ地を必死で開墾した土地に、ミサイル基地が完成してしまいます。ミサイルが搬入される港で、86歳の山里節子さんは、「負けるわけにはいかない、心の底から気持ちを奮い立たせて闘いを続けるしかない」と語ります。

宮古島では、子育て中の若い二人の女性を中心に、家族ぐるみの反対運動が描かれます。弾薬庫や射撃場が、山羊と共に暮らす住民のすぐ近くに完成します。女性の一人が、

ポツリと絞り出すように語ります。「やめる理由がないからやり続けるだけだ！」と。

✻

100名弱の観客は、6割ぐらいが高齢者と思われました。若い方、学生さんもたくさんおられたので、北九州市で「戦雲」を上映出来て良かったと思いました。(おおのやすのり)



三上智恵監督



映画のワンシーン

「奄美大島の土砂を、 辺野古に搬出させない」 署名の取り組みが始まります

予告編



防衛局は、米軍に提供する辺野古新基地を造るため、世界自然遺産に指定された奄美大島から、埋立用の土砂を調達しようとしています。

奄美大島には多くの採石場があり、住民のみなさんは、採石場からの粉じん、振動、赤土流出による海の汚濁等に悩まされてきました。これ以上の奄美大島の生活環境・自然環境破壊は許されません。



また、沖縄県外から調達されるのが石材であれ、土砂であれ、特定外来生物が付着して沖縄県に侵入し、貴重な生態系をかく乱する恐れがあります。防衛局は、沖縄県の「土砂条例」に対応するため、奄美大島での外来生物調査を実施していますが、現地ではオオキンケイギクの植生が確認されています。大量の石材等に対し侵入対策を取ることは不可能です。



土砂全協から署名用紙が届くのはもうすぐですが、この会報への同封は間に合いませんでした。会員のみなさんには来月の会報と一緒に、署名用紙をお届けします。ご協力をよろしくお願いいたします。

求！ 世話人会では、「会報」の発送をお手伝いしていただける方を、募集しています。

会報の発送は世話人会を中心に、毎月5～7人で行っています。時間も1時間～1時間30分くらいで終わることが多いのですが、たま～に3人という時もあります。「人数の少ない時、連絡くれたら手伝いに行くよ」と言う方がおられましたら、会報裏表紙の連絡先にお電話いただき「会報発送お助け人」に登録していただけると助かります。ご協力を、よろしくお願いいたします。

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 11月13日(水)…《会報発送》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 11月22日(金)…《小倉駅前街頭宣伝》16時～ ※金曜日です
- 11月30日(土)・12月1日(日)…《沖縄・西日本ネットワーク(準備会)交流集会》
開催場所は大分・詳細は同封のチラシ参照
- 12月04日(水)…《会報発送作業》13時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 12月04日(水)…《世話人会》上記の会報発送作業が終わり次第、同会場にて
- 12月21日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》14時30分～ ※時間にご注意を

「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000 円・団体 3000 円)です。090-4482-0043 大野保徳までお電話いただければ、会報をお送りします。

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。



《辺野古土砂ストップ北九州》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2024 年 11 月 13 日発行